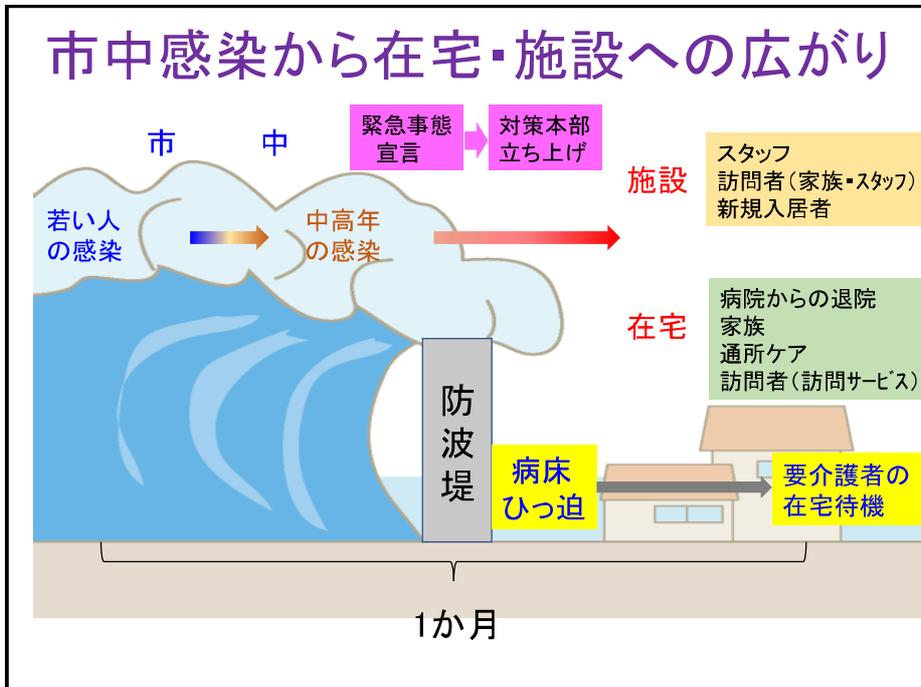
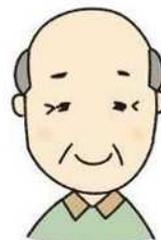


新型コロナウイルス感染症の方の 在宅療養支援

平原佐斗司

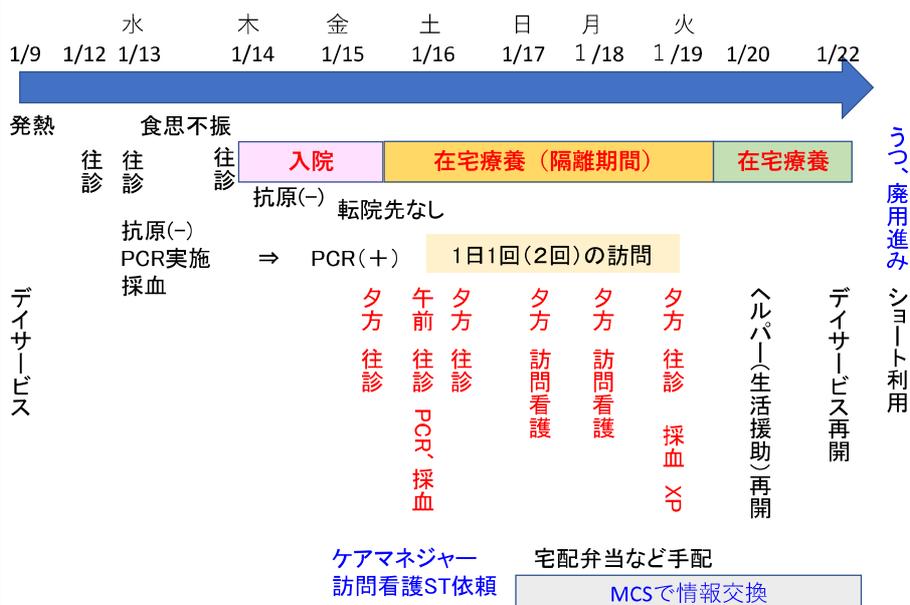


第3波での経験



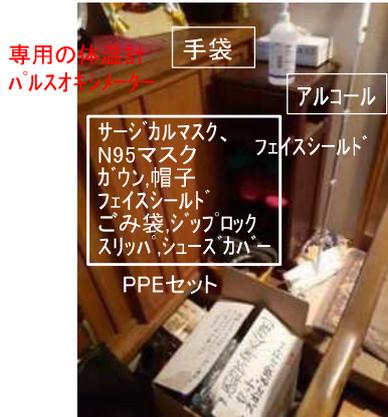
- 94歳の軽度アルツハイマー型認知症の方
- 区内の一軒家に一人で居住
- 身寄りには都内に住む姪が一人だが骨折で入院中
- 訪問診療を受け、降圧剤などの薬を複数服薬中
- 要介護1で普段は、通所ケアと訪問介護(生活援助)を受けながら、何とか独居生活を続けていた。
- 発熱、食思不振で発症、誤嚥性肺炎を疑われ入院するも、在宅で実施したPCR陽性が判明したため、今日の夕方自宅に戻されることになった。

94歳軽度認知症独居事例の経過



感染者への訪問

PPEセットの配置



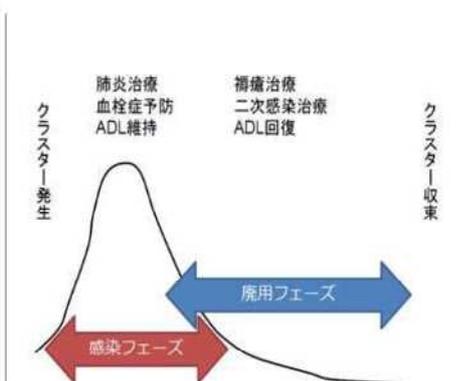
日本財団助成のPPEセット
訪問看護財団窓口

玄関(グリーンゾーン)でPPE着脱



箱の外に、PPE装着のしかた、ごみの廃棄のしかたについて印刷したものを張って、方法を統一

高齢者、コロナ感染後に必要なこと



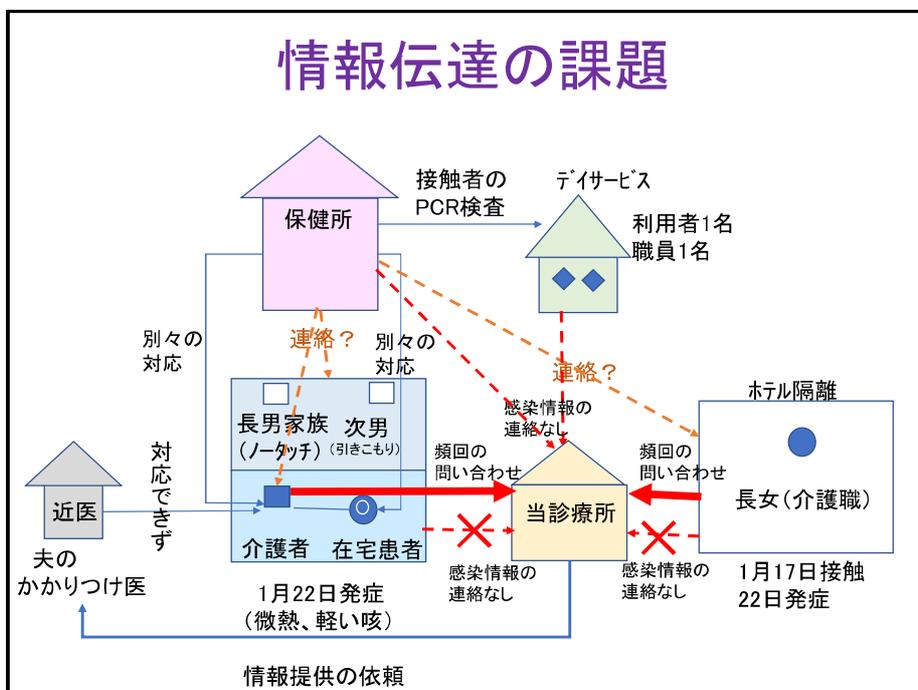
- 高齢者では感染後に、**サルコペニア、低栄養、うつ病・せん妄**の発症リスクが高い
- 高齢者では、若い人よりも**慢性疼痛**が一般的にみられる
- これらの症状のため、**医療のアクセス、日常生活機能**(近所への買い物)、**社会活動**(友人との付き合い等)が低下しやすい。
- サポートは、医師、看護師、ソーシャルワーカー、リハビリチームなど、個別の状況に応じてチームで提供される必要がある。

第3波での経験



- 82歳、他区在住の要介護4重度混合性認知症女性
- 軽度物忘れがある86歳の夫が介護(二人暮らし)
夫は糖尿病、高血圧、心不全で近医通院中
- 同じ建物の2階に長男次男居住も介護ノータッチ
長男は複数の慢性疾患有 次男は引きこもりで介護力なし。都内在住の長女(介護職)は同時期感染しホテル隔離中(発症5日前に夫婦との接触していたが、長女からは感染の連絡なし)
- 発症6日前に妻は陽性者が出たデイサービス利用(23日に本人はPCR検査を受けていたが連絡なく、当院より往診やPCR実施)
- 22日にご夫婦同時に微熱と空咳で発症、本人はその後無症状で経過
- 介護者の夫は微熱持続、パニックになった夫より主治医ではなく当院に頻回に電話あり、ホテル隔離中の長女もパニックで頻回に連絡・苦情(20回)あり、当院の業務が妨げられた
- 夫は26日に高熱、この間25日に受けたPCR検査で26日陽性判明、妻は保健所の指示で23日に受けたPCR検査が26日夕に陽性判明(主治医に連絡ないため、夫の発熱をうけて26日朝臨時往診し、当院医師が往診でPCR検査を実施)
- 保健所からは医療機関からの個別の相談は受けなておらず、情報は基本家族から聞くようにという指示あり。
- 27日より訪問の準備を実施していたが、同日朝保健所から夫のみをホテル隔離するとの指示。急遽対応案(2人入院)をFAXし、2人同じ病院に入院できた

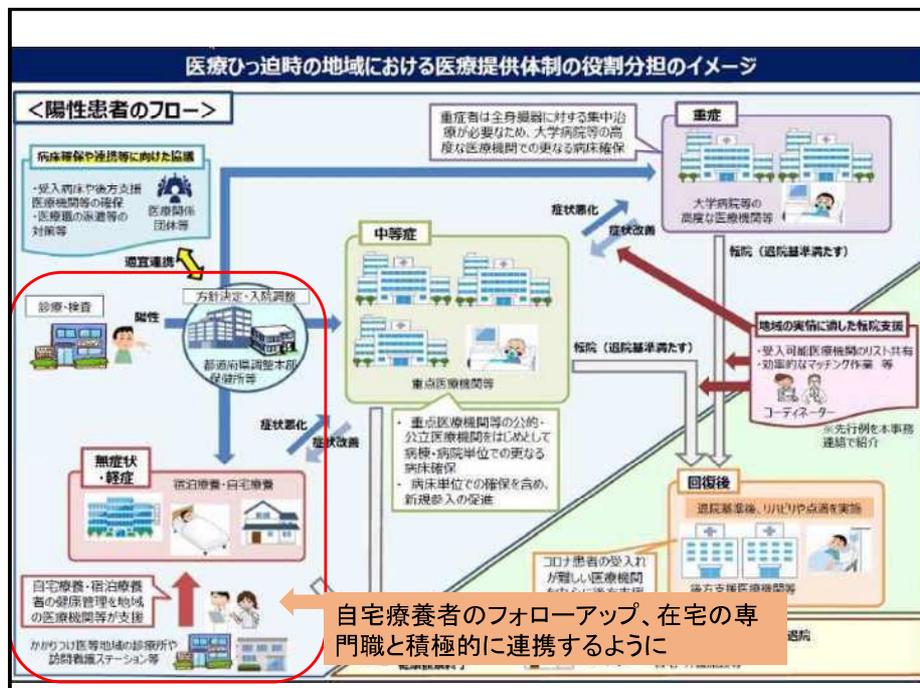
情報伝達の課題



新型コロナウイルス感染者に対する在宅管理について

- (・・・略)原則として入院とされてきた新型コロナ感染者についても、重症度や病床稼働状況によっては宿泊施設や自宅での隔離療養が一般的になってきた。
- (・・・略)しかし、隔離施設については医師会等との連携により看護師が常駐するなど一定の体制が確保されている一方、**自宅隔離の場合には、地域によっては十分な安全管理・療養支援ができる状況にはなっていない。**
- 厚生労働省から都道府県・保健所設置市・特別区に対する事務連絡「**新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備に向けた一層の取組の推進について**」(R3年2月16日)では「**地域の医療団体や自発的な医療機関の連携などの民間活力に基づく協力を得るために、これまで以上に地域の医療関係者と連携して取組を進めること**」、加えて、**地域の医師会や都道府県看護協会、在宅ケアに関する団体等**に「**自宅療養者や自宅待機中の患者等に対するオンラインも活用したフォローアップ業務を委託することを積極的に検討すること**」、「**自宅療養者及び自宅待機者の求めに応じ、往診等の協力の要請を行うことを検討すること**」とされている。
- 今後は保健所との最適な役割分担の中で、**在宅療養者に対する在宅医療の提供を含む地域資源の適正利用化を進めるとともに、感染者が最適な療養場所を選択できるよう支援していく必要がある。**

日本在宅医療連合学会WG作成(同HPより)



コロナ患者の在宅療養支援基本的な考え方

- 重症化リスクの低い患者は在宅自己隔離、重症化リスクが高い患者（在宅患者を含む）は原則として入院管理とする。
- 酸素・ステロイド・抗ウイルス薬・抗凝固剤の投与など、24時間継続的なモニタリングを要する積極的な治療は原則として在宅管理ではなく入院管理下で行われるべきである。
- 重症化のリスクが高くても（あるいは軽症者が重症化しても）、地域の入院病床の稼働状況によっては、ただちに入院管理が選択できず、入院までの間の在宅管理が必要となる場合がある。
- 入院待機としての在宅療養においても特に高齢者においては必要に応じた医療的支援は行われるべきであり、かかりつけ医等による直接的あるいは間接的支援を含めた在宅管理体制が必要である。
- 人生の最終段階にあって、入院治療によって予後の見通しが大きく改善しない、むしろQOLの低下が予想される場合は、協働意思決定に基づき、在宅管理という選択は許容される。
- 在宅管理を行う場合（入院しないできない状況下において）必要に応じて治療、緩和ケア、看取り援助（死亡診断含）が提供できる体制を確保する。
- 特に高齢の入院患者が隔離解除によって退院した場合、特に介護必要度が高い場合には地域の多職種とともに積極的に受け入れに協力する。

日本在宅医療連合学会WG作成（同HPより）

在宅管理の対象者

- 当該医療機関が、かかりつけ医として訪問診療を行っている患者およびその家族
- 当該医療機関が、かかりつけ医として外来診療を行っている患者
- 上記以外で当該医療機関が新型コロナウイルス感染症の診断に関与した患者
- 行政・保健所・医師会・病院等より在宅管理（施設管理）の依頼を受けた患者

日本在宅医療連合学会WG作成（同HPより）

在宅管理の基本的要素

1. 在宅管理の選択および保健所との情報共有

かかりつけ医等として関わり PCR 検査等で陽性と診断した場合、管轄保健所に発生届をFAX 後、保健所と今後の方針を決める。下記に該当する場合には、保健所と連携しつつ在宅管理の可否について相談する。

- 重症化のリスクが低く、直ちに入院を必要としない場合
- 重症化のリスクが高いが、直ちに入院ができない、または入院を希望しない場合。ただし、特に重症化リスクが高い、自己管理(家族・施設の介護力を含め)ができない、治療の必要度が高いケースについては入院の優先度を上げる。

2. 経過の見通しの共有と今後の方針の決定

- 在宅管理を選択した場合、重症化・急変のリスクについて本人・家族に説明する。
- 重症化・急変した場合の対応(救急搬送・入院／看取り視野に在宅管理継続など)について方針を決めておく。

日本在宅医療連合学会WG作成(同HPより)

在宅管理の基本的要素

3. 在宅でのモニタリング

自己管理が可能な場合(家族の支援が得られる場合を含む)には、体温計とパルスオキシメーターを貸与し、体温・呼吸回数・脈拍・動脈血酸素飽和度をモニタリング、必要に応じて電話再診またはオンライン診療で状態を確認し、必要に応じて往診する。

自己管理が困難な場合および重症者は入院管理を原則とするが、入院ができない場合・入院を希望しない場合には、医療(介護)専門職が状態に応じて訪問診療または往診し、状況を確認する。特に訪問診療を行っている患者については、在宅療養支援計画の見直しを行う

4. 在宅療養支援計画の見直し

保健所・ケアマネジャー・訪問看護師との連携に基づき、在宅管理開始から感染対応解除基準を満たすまでの期間の暫定的なケアプランを作成する。特に感染力の強い最初の7日間(重症化した場合には20日間)は、訪問時の感染防御に最大限の留意を払うとともに、訪問者・訪問頻度・訪問時間を最小限とする。特に柔軟な訪問看護の提供体制を確保するため、状況に応じて医師の判断で特別訪問看護指示書を発行することが望ましい。

日本在宅医療連合学会WG作成(同HPより)

在宅管理の基本的要素

5. 在宅療養支援・在宅ケアの提供

訪問看護ステーション・訪問介護サービスとの連携を密にする。訪問看護・訪問介護サービスを提供する上での注意事項や費用負担等は厚労省の事務連絡に従う。

6. 重症化(入院の必要性)の判断と対応

本人の全身状態およびバイタルサイン(体温・呼吸回数・脈拍・SPO2等)から入院管理が必要と判断した場合には、原則として救急搬送とする。入院ができない・入院を希望しない場合には、在宅管理を継続する。

6. 在宅での治療

治療が必要な場合は入院管理を原則とするが、入院ができない・入院を希望しない場合には、経過と患者の意向に応じて、重症化を防ぐ・死亡率を下げるための一定範囲の治療(在宅酸素療法・ステロイド投与・抗凝固剤投与等)を在宅で行う。

7. 在宅での緩和ケアと看取り

経過と患者の意向に応じて、在宅での緩和医療(発熱・呼吸苦等に対する投薬等)・看取り援助・死亡診断を行う。看取りが視野に入る場合には、保健所にあらかじめ連絡をしておく。

日本在宅医療連合学会WG作成(同HPより)

患者の意向別・地域の入院受け入れ状況別の支援内容

		医療提供状況			
		かかりつけ医がいる+対応できる		かかりつけ医がないまたは対応できない	
		在宅医療を受けている	在宅医療を受けていない		
患者の意向	入院希望あり 入院までの自宅(施設)待機	A 入院までの期間 かかりつけ医による 自宅でのモニタリング支援 + 必要最小限の 在宅療養支援	B 入院までの期間 自己モニタリング + かかりつけ医による 遠隔支援	C 入院までの期間 自己モニタリング + 地域医療機関による 遠隔支援	
	入院を希望しない (または重症化リスク低い) ただし重症化したら入院希望	D かかりつけ医による 患者の意向に応じた 在宅医療の提供	E かかりつけ医による 在宅医療の開始 ただし、老化・疾病により 人生の最終段階にあるという自覚	F 地域医療機関による 在宅医療の開始 ただし、老化・疾病により 人生の最終段階にあるという自覚	
	入院を希望しない 在宅での看取りも視野に				

日本在宅医療連合学会WG作成(同HPより)

コロナ在宅療養者の分類

- A) もともと訪問診療を受けており、入院待機中または重症化しない限りは入院を希望しない患者の在宅管理
- かかりつけ医として在宅管理(主に在宅療養支援)に積極的に取り組む。
 - 重症化した場合には、迅速に入院管理につなぐ。
 - 重症化しても直ちに入院ができない場合には、在宅での治療を開始する。
- B) 外来通院しており、入院待機中または重症化しない限りは入院を希望しない患者に対する在宅管理
- かかりつけ医として在宅管理(主に在宅モニタリング)に積極的に取り組む。
 - 重症化した場合には、迅速に入院管理につなぐ。
 - 重症化しても直ちに入院ができない場合には、在宅での治療を開始する。
- C) かかりつけ医がない(または対応できない)患者の在宅管理
- 新型コロナウイルス感染症と診断した医師(医療機関)が在宅管理を担う。
 - 上記が対応できない場合には、保健所・医師会・病院等からの依頼を受けた医師(医療機関)が在宅管理を担う。
 - 重症化した場合には、迅速に入院管理につなぐ。
 - 重症化しても直ちに入院ができない場合には、在宅での治療を開始する。

日本在宅医療連合学会WG作成(同HPより)

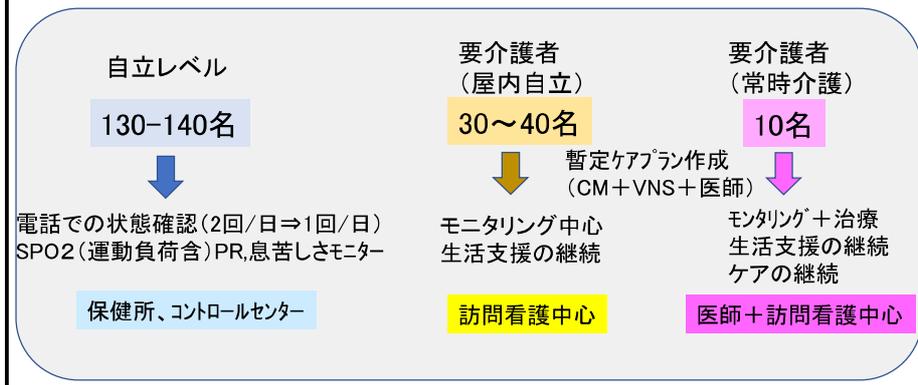
コロナ在宅療養者の分類

- D) 在宅療養中の患者に対する在宅療養支援の継続
- かかりつけ医として在宅管理(主に在宅療養支援)に積極的に取り組む
 - 重症化した場合には、患者に意向に応じて在宅で可能な範囲の治療を行い、経過に応じて緩和医療・看取り援助・死亡診断を行う。
- E) 外来通院中の患者に対する在宅療養支援の開始
- かかりつけ医として在宅管理(主に在宅モニタリング)に積極的に取り組む
 - 重症化した場合には、患者に意向に応じて在宅で可能な範囲の治療を行い、経過に応じて緩和医療・看取り援助・死亡診断を行う。
- F) かかりつけ医のいない(または対応できない)患者に対する在宅療養支援の開始
- 新型コロナウイルス感染症と診断した医師(医療機関)が在宅管理を担う。・上記が対応できない場合には、保健所・医師会・病院等からの依頼を受けた医師(医療機関)が在宅管理を担う。
 - 重症化した場合には、患者に意向に応じて在宅で可能な範囲の治療を行い、経過に応じて緩和医療・看取り援助・死亡診断を行う。

日本在宅医療連合学会WG作成(同HPより)

第3波の教訓から必要な支援体制を検討する

- 1月の第3波ピーク時北区全体で180名の自宅待機者（当時新宿など多い区では400名の自宅待機者）
- そのうち40～50名は要介護者
- 訪問診療レベルは要介護者の15%⇒10名未満の訪問診療レベルがあったと推定



新宿区のシステム

夜間に東京都発熱相談センターに相談のあった、新宿区民または区内滞在者のうち医師の対応が必要な方に対し、委託医療機関の医師がアセスメントを行い、迅速に必要な医療等につなぐことを目的とする。

○事業の流れ

- ①新宿区民または区内滞在者（以下相談者という）が、夜間に東京都発熱相談センターに電話相談
- ②区の対応が必要と判断された場合、東京都の相談担当者から新宿区の夜間当番に連絡
- ③新宿区の夜間当番は、相談内容について医師の判断が必要な場合には、相談者に委託医療機関（在宅療養支援診療所）の連絡先を案内
- ④相談者から電話を受けた委託医療機関（在宅療養支援診療所）の医師は、アセスメントを行い迅速に必要な機関（医療等）につなぐ



京都府のシステム

